

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2007年第50週  
(12月10日～12月16日)

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>* 2007年12月19日現在の情報により作成しています。<br/>最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。<br/><a href="http://survey.tokyo-eiken.go.jp/">http://survey.tokyo-eiken.go.jp/</a></li><li>* 今週は月報告(2007年11月)の疾患も掲載しています。</li></ul> |
|---|

2007年12月20日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2007年50週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	60	73	66	59	2822	269	18525
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ					2		12
	細菌性赤痢		2	4		83	1	438
	腸管出血性大腸菌感染症	10	9	4	2	472	27	4544
	腸チフス					11	2	47
	パラチフス		1			7		20
四類	E型肝炎					3		52
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	1	19	1	149
	エキノコックス症					3		16
	黄熱							
	オウム病					1	1	30
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1	1	6
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病	1	4	3	1	12	20	304
	デング熱			1		23	2	88
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							89
	日本脳炎							8
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							3
	マラリア					22	1	50
野兔病								
ライム病					3	1	11	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	2	1	1	1	53	9	631	
レプトスピラ症					3		32	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		47週	48週	49週	50週	年累計	50週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	3	2	2	162	7	753
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1		3		39		225
	急性脳炎 **	1			1	19	1	211
	クリプトスポリジウム症					1		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2			15	4	139
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					6	1	93
	後天性免疫不全症候群	6	8	16	11	496	11	1403
	ジアルジア症			1	1	17		51
	髄膜炎菌性髄膜炎	1				3	1	17
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	2	5	4	157	9	684
	破傷風					1		87
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1		2	17	2	77
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/12/19集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

# 2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

#### (全数把握対象疾患のコメント)

##### 〈二類感染症〉

###### 結核 59件

肺結核45件、その他14件で、推定感染地は国内39件、カンボジア1件、不明19件であった。年齢群は10歳未満2件(うち5歳未満1件)、20歳代7件、30歳代7件、40歳代10件、50歳代7件、60歳代10件、70歳代11件、80歳代4件、90歳代1件であった。

##### 〈三類感染症〉

###### 腸管出血性大腸菌感染症 2件

ともに有症状者で、血清型・毒素型は、O157(VT1・VT2)、O157(VT2)が各1件であった。年齢群は、10歳代、20歳代が各1件であった。

##### 〈四類感染症〉

###### A型肝炎 1件

国内の感染で、生ガキの喫食との関連が疑われている。

###### つつが虫病 1件

推定感染地は都内島しょ地域であった。

###### レジオネラ症 1件

肺炎型の70歳代男性で、推定感染地は台湾。水系感染が疑われている。

##### 〈五類感染症〉

###### アメーバ赤痢 2件

いずれも腸管アメーバ症で、推定感染地は国内1件、中国1件、推定感染経路は飲食物による経口感染1件、不明1件であった。

###### 急性脳炎 1件

患者は1歳未満で、病原体不明である。

###### 後天性免疫不全症候群 11件

無症候キャリア5件、AIDS 2件、その他4件であった。推定感染地は国内10件、タイ1件で、推定感染経路はすべて性的接触(同性間7件、異性間3件、両性間1件)であった。

###### ジアルジア症 1件

感染地、感染経路は不明であった。

###### 梅毒 4件

早期顕症梅毒 I 期3件、晩期顕症梅毒1件で、推定感染地は国内3件、不明1件、感染経路はすべて性的接触(異性間3件、性別不明1件)であった。

###### バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2件

ともに VanC で、血液から検出された。感染経路は不明であった。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年50週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	47週	48週	49週	50週		
RSウイルス感染症	63	85	102	115	365	1,194
インフルエンザ	416	651	1,362	2,048	4,477	49,167
咽頭結膜熱	25	28	57	47	157	2,707
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	220	364	280	279	1,143	11,385
感染性胃腸炎	1,313	2,070	2,755	3,108	9,246	41,580
水痘	149	206	200	267	822	8,355
手足口病	56	45	31	35	167	4,327
伝染性紅斑	24	21	32	37	114	2,820
突発性発しん	107	87	83	95	372	4,556
百日咳	1	3	6	4	14	142
風しん	1	1	0	0	2	34
ヘルパンギーナ	29	12	16	13	70	6,792
麻しん(成人麻しんを除く)	1	1	0	0	2	302
流行性耳下腺炎	40	29	30	22	121	1,868
不明発しん症	13	7	12	16	48	649
MCLS	3	1	0	4	8	107
急性出血性結膜炎	1	3	2	1	7	79
流行性角結膜炎	17	10	26	14	67	924
細菌性髄膜炎	1	1	2	2	6	33
無菌性髄膜炎	0	0	0	1	1	51
マイコプラズマ肺炎	7	13	10	13	43	224
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	2	3	21
成人麻しん	1	0	0	2	3	260
2007/12/19集計						

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数が継続して増加中である。さらなる流行拡大に注意が必要である。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数はさらに増加した。1999/2000年シーズン以降の同時期と比較して最も多い状況が続いており、例年より約1ヶ月早いペースで増加している。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数はさらに増加し、20.0人/定点を超えた。これは1999/2000年シーズン以降では、昨シーズンに続き2回目である。さらなる流行拡大に注意が必要である。
- ・細菌性髄膜炎の定点当たり報告数は変化していないが、過去5年平均と比べ高いレベルにあるので、引き続き注意が必要である。
- ・マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は比較的高いレベルにあり、比較的少ない過去5年平均の同時期とは推移が異なる。今後の動向に注意が必要である。
- ・成人麻しんの定点当たり報告数がやや増加した。この時期に増加がとらえられるのは珍しく、今後の動向に注意が必要である。

### (定点医療機関からのコメント)

大田区保健所管内定点医療機関

- ・百日咳:成人男性36歳 激しい咳こみ 白血球増多 FHA抗体価上昇

中野区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:嘔吐・腹痛から一過性の発熱で、下痢は少ない印象です。

\* インフルエンザに関するコメントは16、17頁にまとめて記載しました。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	16	4			25	7			1
～11か月	32	10	2	5	154	14	2	1	48
1歳	38	56	7	11	444	48	11	1	40
2歳	11	59	4	14	270	46	9	1	4
3歳	8	89	8	22	254	35	2	5	1
4歳	6	156	3	34	296	45	5	7	
5歳	1	179	8	50	199	27	3	4	
6歳	1	168	3	37	203	18	2	6	1
7歳	1	204	6	33	162	11	1	3	
8歳		163	2	15	128	6		3	
9歳		140	3	20	114	6		2	
10～14歳		293		22	234	3		2	
15～19歳		51			60				
20～29歳	1	139	1	16	565	1		2	
30～39歳		169							
40～49歳		112							
50～59歳		41							
60～69歳		8							
70～79歳		6							
80歳以上		1							
合計	115	2,048	47	279	3,108	267	35	37	95
先週比	13	686	-10	-1	353	67	4	5	12

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月			1					2	
～11か月			2			1		2	
1歳	1		5		1			4	1
2歳			1					2	2
3歳					2			2	
4歳	1				1		1	2	1
5歳			2		8		2	1	
6歳			1		1				
7歳			1					1	
8歳					3				
9歳									
10～14歳					2				
15～19歳					1				
20～29歳	2				3		3		
30～39歳							6		
40～49歳							1		
50～59歳									
60～69歳									
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	4	-	13	-	22	1	14	16	4
先週比	-2	0	-3	0	-8	-1	-12	4	4

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	6	2	1		22					
中央区		42	2	1	20					
みなと	3	46	4	6	80	7			1	
新宿区	13	47	1	8	83	7			2	
文京		28			33	8				
台東	5	28		6	62	3	2		5	
墨田区	5	29		4	59	1		1	2	
江東区	3	85	1	5	169	2	5		6	
品川区	1	69	1	8	183	15		3		
目黒区		13		1	32	2	2	2		
大田区	18	144	8	13	187	8	1	6	8	2
世田谷	2	114	2	17	144	9	1	1	6	
渋谷区		46		3	59	2	1		3	
中野区	1	53		6	158	9	1	1	4	
杉並	3	107	9		146	6			3	
池袋		35		1	28	3		1	1	
北区		104	3	29	75	6	1		2	
荒川区	2	41		11	43	2	4		2	
板橋区		57			72	2			4	
練馬区	5	107	1	4	117	8			6	
足立	3	60	3	3	127	3	1		3	
葛飾区		32		6	70	23	1		1	
江戸川	11	201	2	17	175	7	3		4	
西多摩	3	26		5	78	11	2		3	1
八王子	6	94	4	24	179	20	1	3	6	
南多摩	3	78		11	51	18	2	3	3	
町田		105		47	213	33		9	9	
多摩立川		56		5	107	5			2	
多摩府中	1	98		6	125	22	5	5	5	1
多摩小平	21	100	5	29	207	25	2	2	3	
島しょ		1		3	4				1	

東京都合計	115	2,048	47	279	3,108	267	35	37	95	4
定点当り報告数	0.77	7.09	0.31	1.86	20.72	1.78	0.23	0.25	0.63	0.03

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									31
中央区									65
みなと							1		148
新宿区						4			165
文京		2				2			73
台東								1	112
墨田区							1		102
江東区		2		1				1	280
品川区						1	1		282
目黒区				3					55
大田区		1		4			1	1	402
世田谷				4	1	2			303
渋谷区									114
中野区				1		1	1		236
杉並						1			275
池袋				1					70
北区				1					221
荒川区				1		1			107
板橋区							1		136
練馬区									248
足立				1		1	2		207
葛飾区				1					134
江戸川		1		1			2		424
西多摩									129
八王子		1					3		341
南多摩									169
町田		3					2		421
多摩立川				1					176
多摩府中				1					269
多摩小平		3		1		1			399
島しょ							1	1	11

東京都合計	-	13	-	22	1	14	16	4	6,105
定点当り報告数	-	0.09	-	0.15	0.03	0.36	0.11	0.03	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年50週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	1.50	0.40	0.25		5.50					
中央区		10.50	0.67	0.33	6.67					
みなと	0.50	5.75	0.67	1.00	13.33	1.17			0.17	
新宿区	2.17	5.22	0.17	1.33	13.83	1.17			0.33	
文京		5.60			11.00	2.67				
台東	1.67	5.60		2.00	20.67	1.00	0.67		1.67	
墨田区	1.67	4.83		1.33	19.67	0.33		0.33	0.67	
江東区	0.75	9.44	0.25	1.25	42.25	0.50	1.25		1.50	
品川区	0.17	6.90	0.17	1.33	30.50	2.50		0.50		
目黒区		2.17		0.33	10.67	0.67	0.67	0.67		
大田区	2.00	9.00	0.89	1.44	20.78	0.89	0.11	0.67	0.89	0.22
世田谷	0.25	7.13	0.25	2.13	18.00	1.13	0.13	0.13	0.75	
渋谷区		7.67		0.75	14.75	0.50	0.25		0.75	
中野区	0.17	5.89		1.00	26.33	1.50	0.17	0.17	0.67	
杉並	0.50	8.92	1.50		24.33	1.00			0.50	
池袋		4.38		0.20	5.60	0.60		0.20	0.20	
北区		14.86	0.75	7.25	18.75	1.50	0.25		0.50	
荒川区	1.00	10.25		5.50	21.50	1.00	2.00		1.00	
板橋区		4.75			12.00	0.33			0.67	
練馬区	1.00	8.92	0.20	0.80	23.40	1.60			1.20	
足立	0.60	5.00	0.60	0.60	25.40	0.60	0.20		0.60	
葛飾区		3.56		1.50	17.50	5.75	0.25		0.25	
江戸川	2.20	16.75	0.40	3.40	35.00	1.40	0.60		0.80	
西多摩	0.60	2.89		1.00	15.60	2.20	0.40		0.60	0.20
八王子	1.50	9.40	1.00	6.00	44.75	5.00	0.25	0.75	1.50	
南多摩	0.75	8.67		2.75	12.75	4.50	0.50	0.75	0.75	
町田		11.67		11.75	53.25	8.25		2.25	2.25	
多摩立川		4.31		0.83	17.83	0.83			0.33	
多摩府中	0.10	4.67		0.60	12.50	2.20	0.50	0.50	0.50	0.10
多摩小平	3.50	7.14	0.83	4.83	34.50	4.17	0.33	0.33	0.50	
島しょ		0.50		3.00	4.00				1.00	

東京都合計	115	2,048	47	279	3,108	267	35	37	95	4
定点当り報告数	0.77	7.09	0.31	1.86	20.72	1.78	0.23	0.25	0.63	0.03

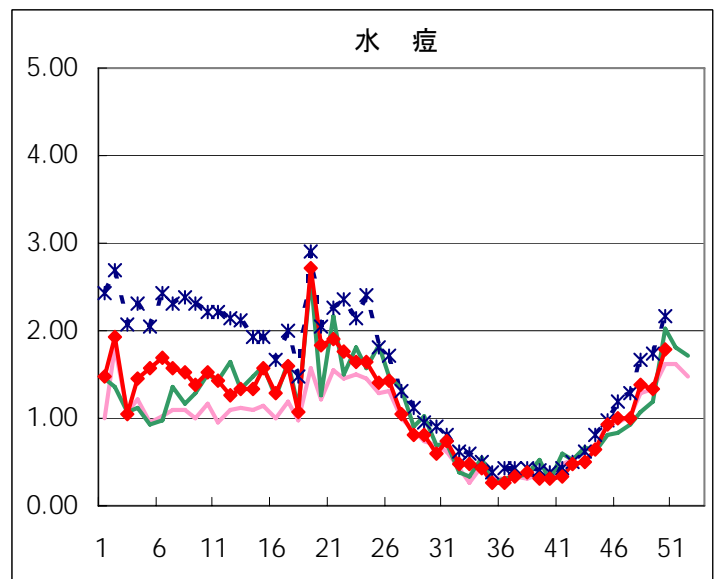
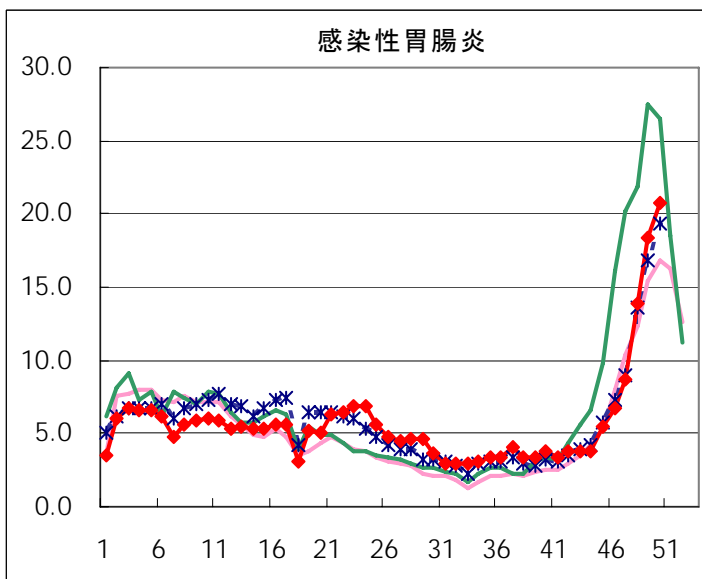
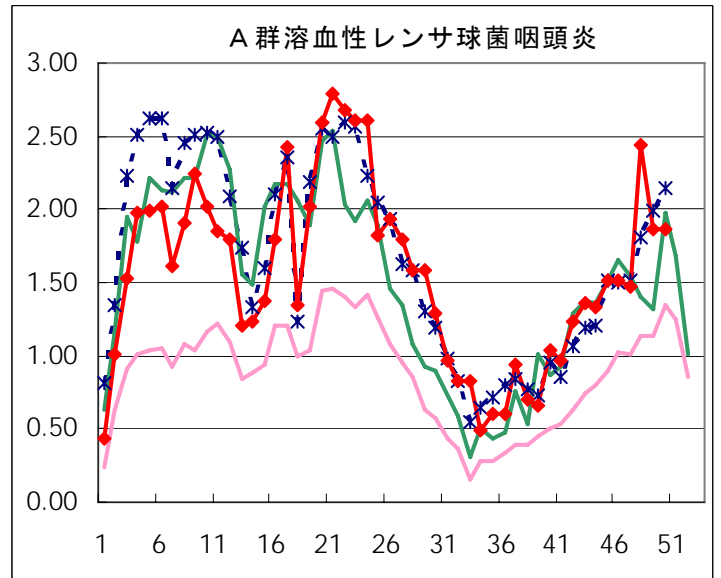
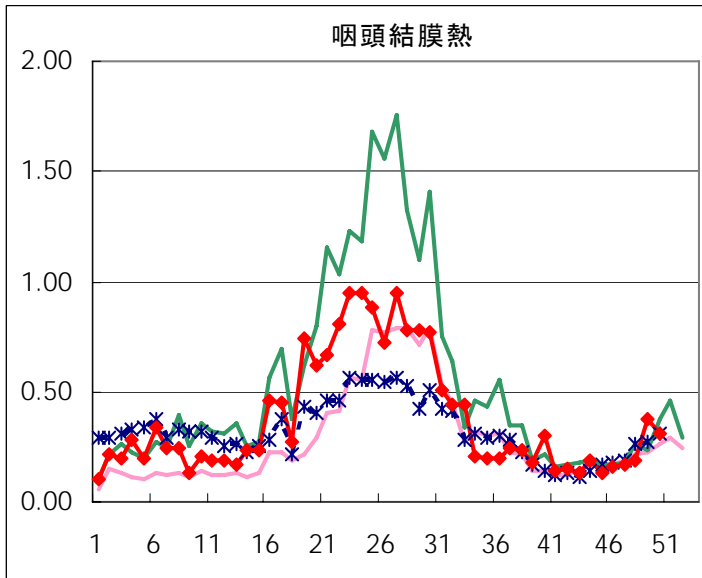
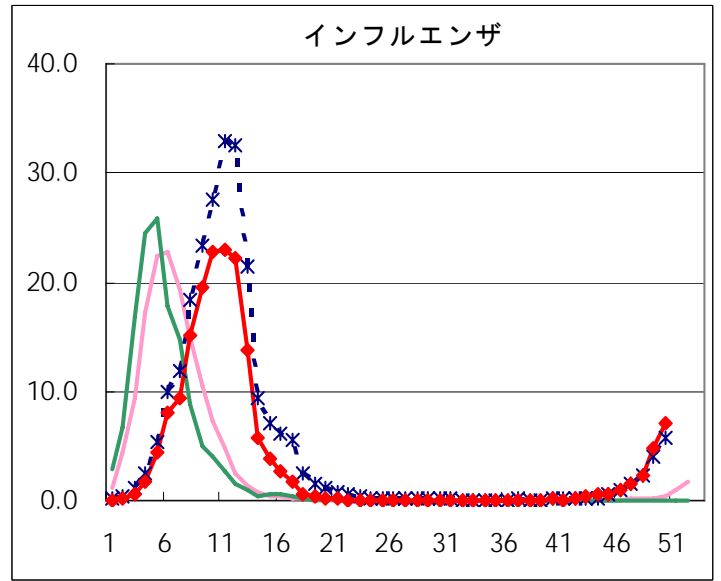
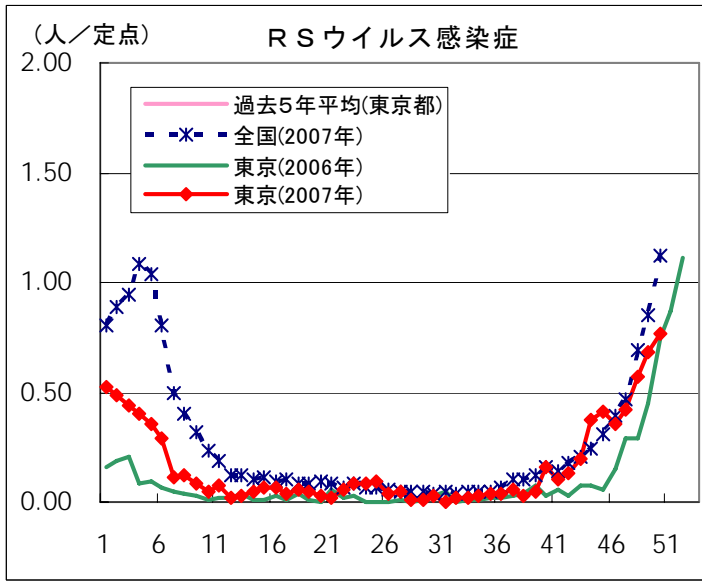


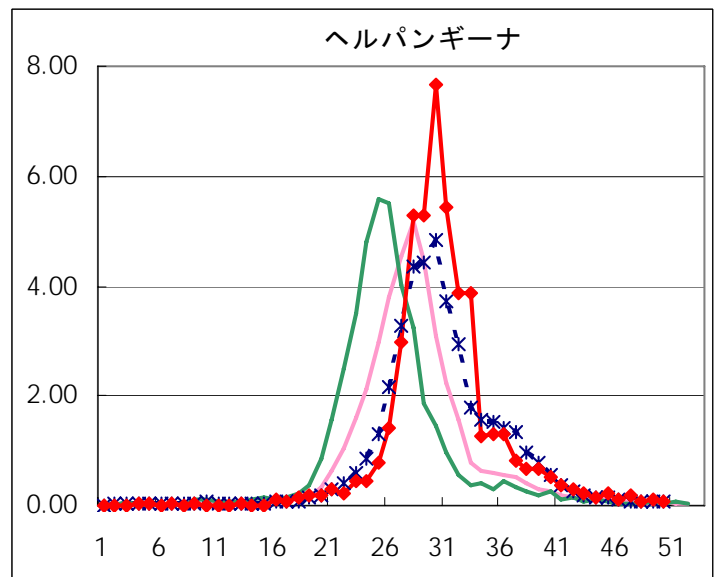
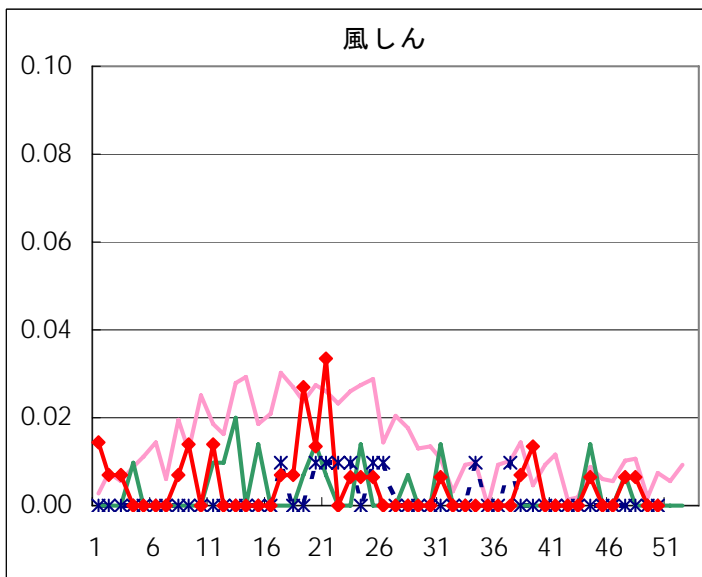
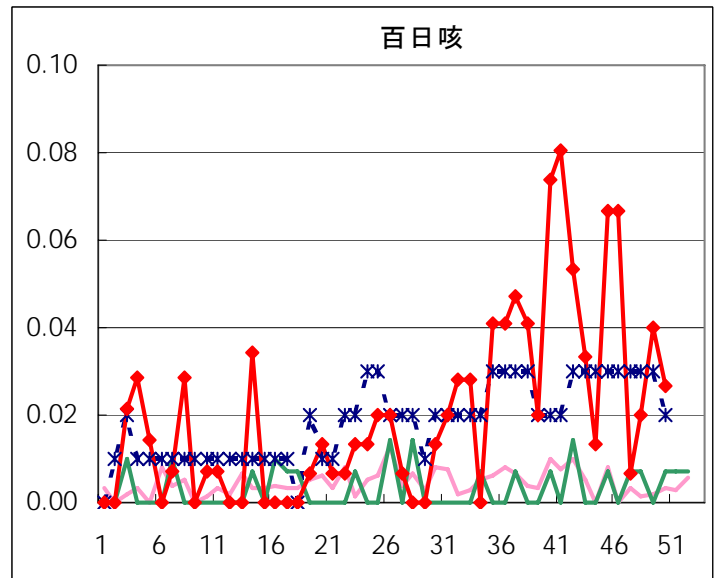
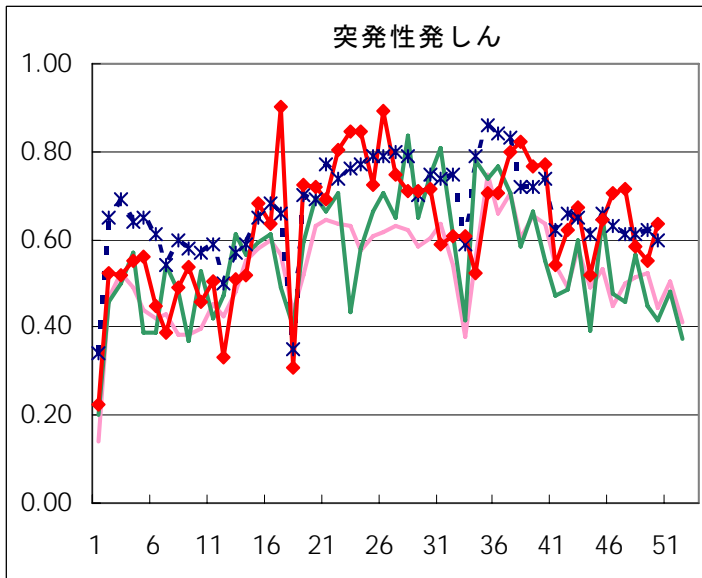
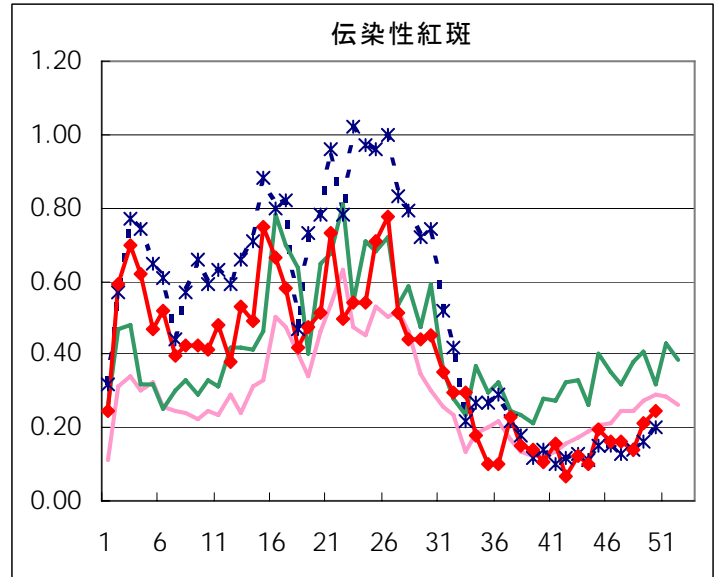
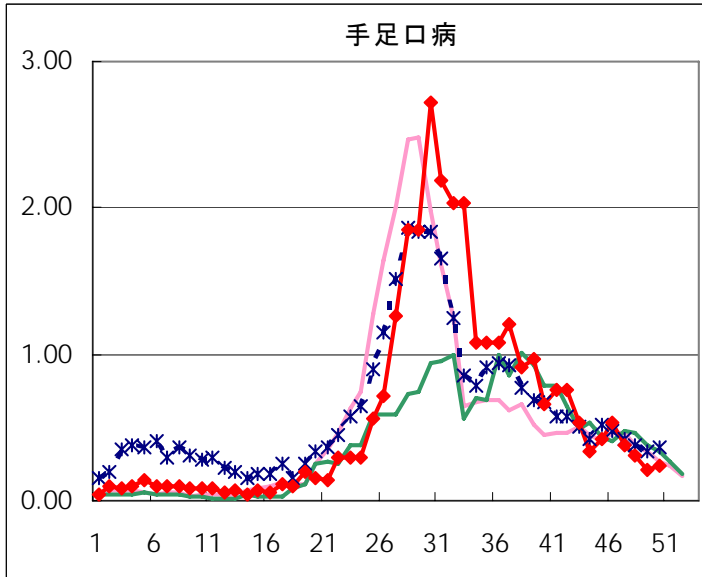
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと							0.17	
新宿区						2.00		
文京		0.67				2.00		
台東								0.33
墨田区							0.33	
江東区		0.50		0.25				0.25
品川区						1.00	0.17	
目黒区				1.00				
大田区		0.11		0.44			0.11	0.11
世田谷				0.50	0.50	1.00		
渋谷区								
中野区				0.17		1.00	0.17	
杉並						1.00		
池袋				0.20				
北区				0.25				
荒川区				0.50		1.00		
板橋区							0.17	
練馬区								
足立				0.20		0.50	0.40	
葛飾区				0.25				
江戸川		0.20		0.20			0.40	
西多摩								
八王子		0.25					0.75	
南多摩								
町田		0.75					0.50	
多摩立川				0.17				
多摩府中				0.10				
多摩小平		0.50		0.17		0.50		
島しょ							1.00	1.00

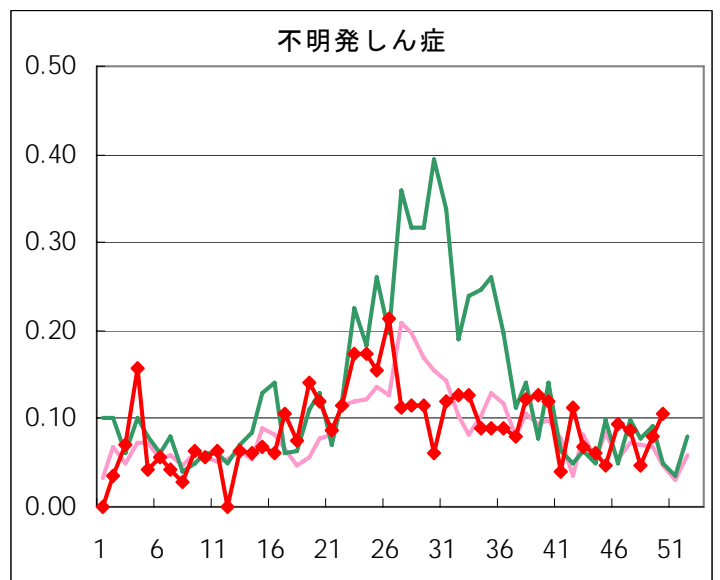
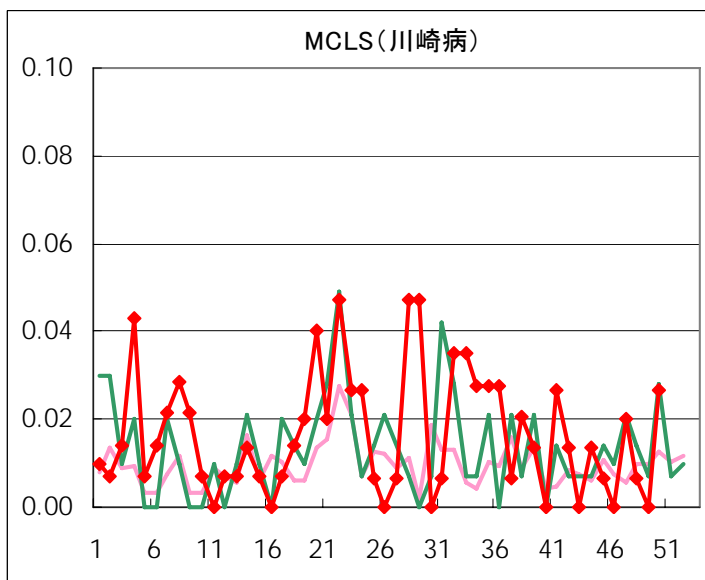
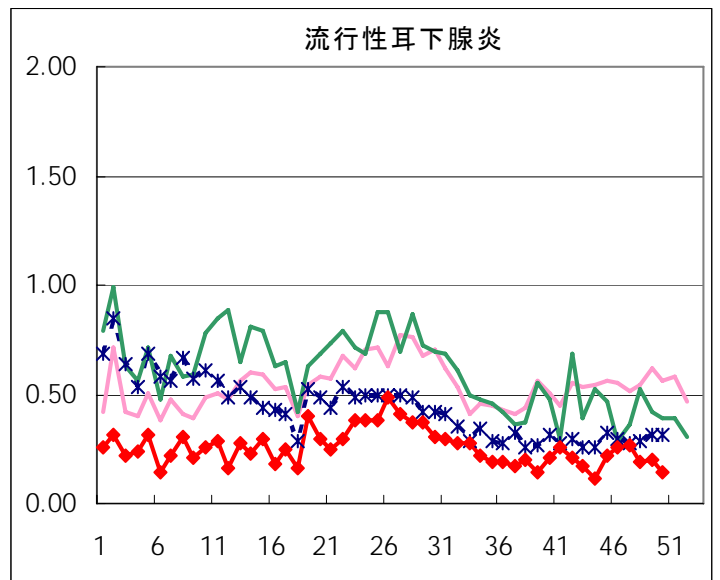
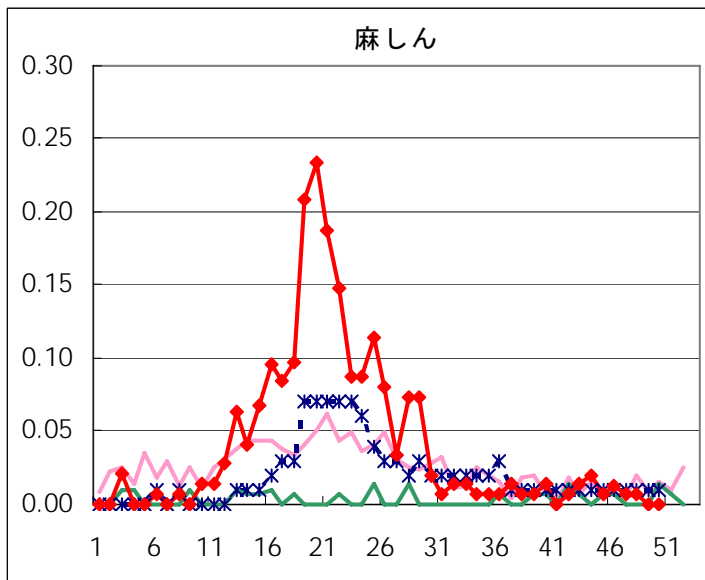
東京都合計	-	13	-	22	1	14	16	4
定点当り報告数	-	0.09	-	0.15	0.03	0.36	0.11	0.03

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年50週現在

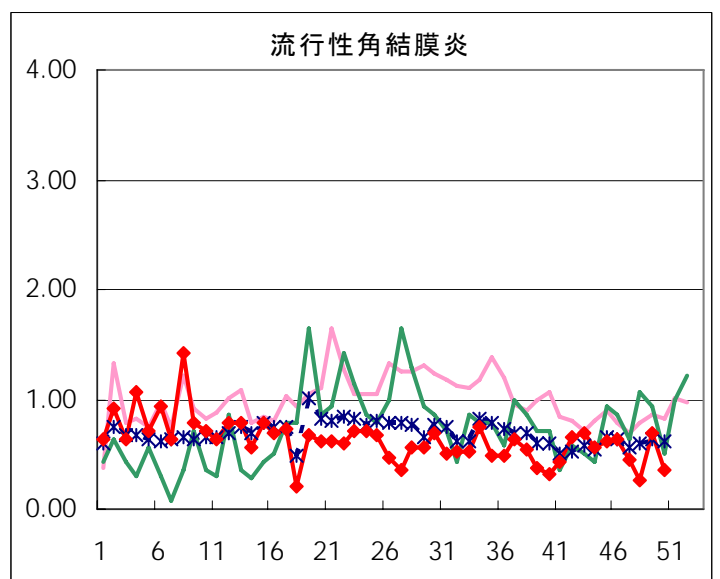
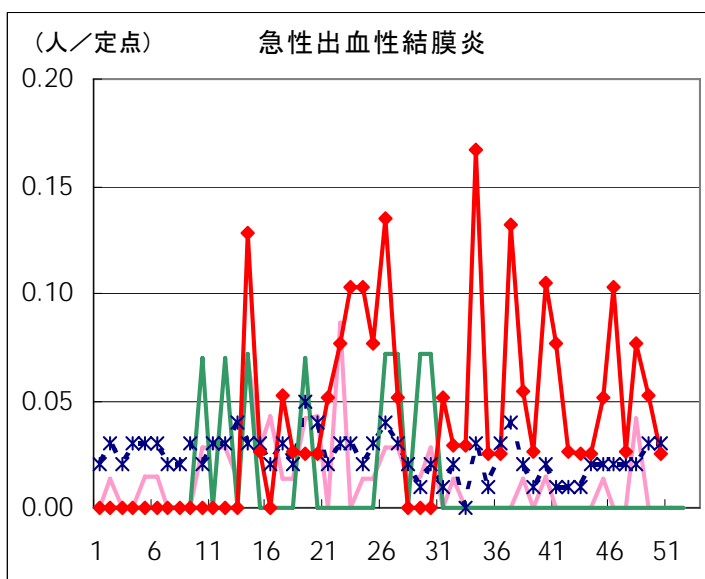
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点



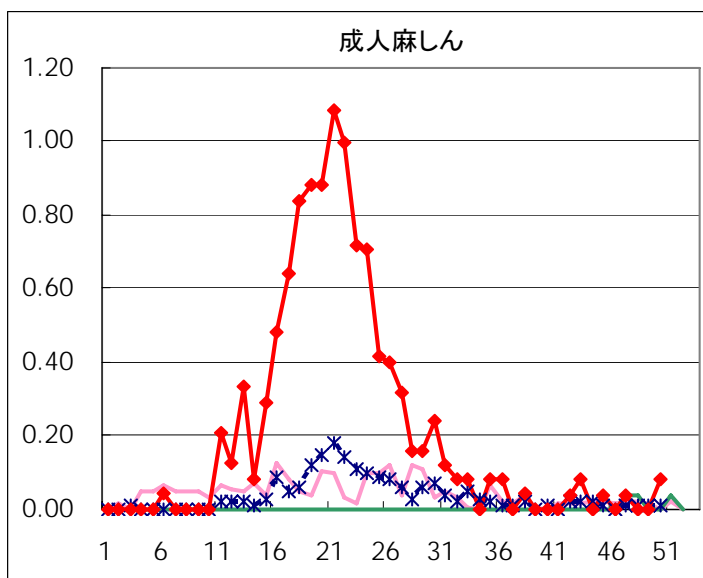
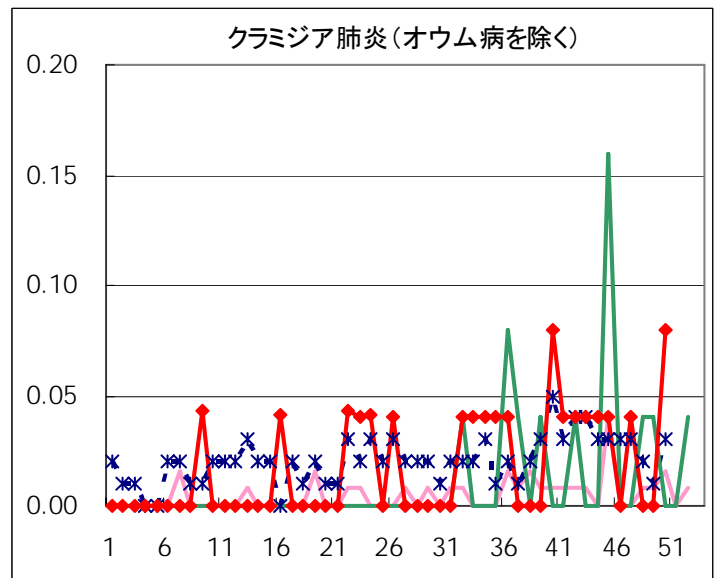
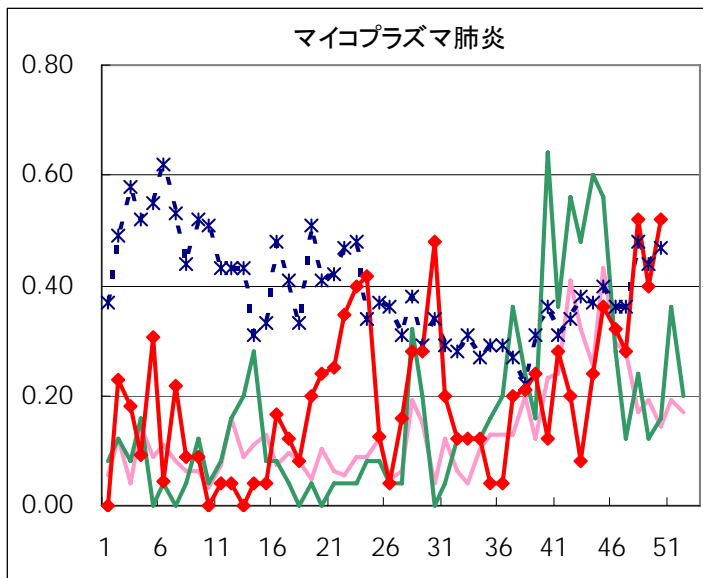
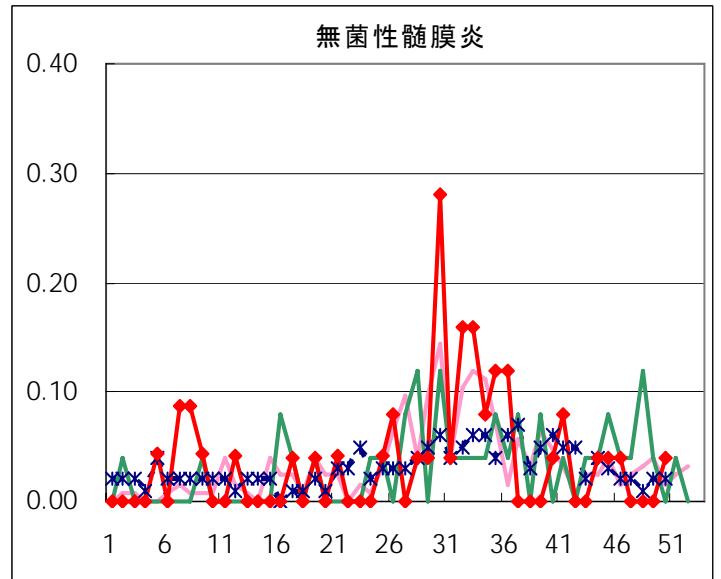
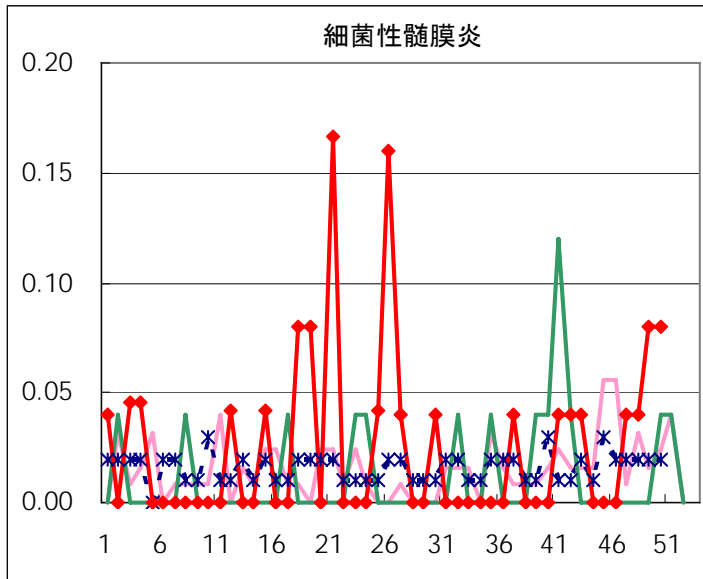




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	289
眼科	急性出血性結膜炎	39	39
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	25
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻疹		
小児科	上記を除く疾病	150	150

週別検査状況 2007年42週～49週

検出病原体・抗体		2007年								合計
		42	43	44	45	46	47	48	49	
ウイルス	アデノ	5	2	8	4	3	2	19	16	59
	ライノ	1	1	1			1			4
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	9	4	9	8	4	6	10	6	56
	単純ヘルペス	4						3	2	9
	水痘・帯状疱疹	2			1					3
	ヘルペス6/7	5		3		1		6	5	20
	EB		1	2				2	1	6
	サイトメガロ	1	3		1	1		1	2	9
	ムンプス					1		1		2
	麻疹									
	風疹									
	パルボB19						1			1
	RS		2	1	4	3	5	2	6	23
	ノロ			1	7	1	2	15	18	44
	ロタ				1	1				2
	インフルエンザAH1			2		2	6	3	10	23
インフルエンザAH3										
インフルエンザB								1	1	
デング			1						1	
その他のウイルス	1								1	
細菌	カンピロバクター			1						1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌									
	その他の細菌		1			1			1	3
その他の病原体										

臨床診断名別検査結果 2007年42週～49週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	70	42	61	79	33	1		7	1	1	1	13	4	2	1		117	
アデノ	3	16	16	11		1		2		1	1	1					7	59
ライノ	2		2															4
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ	2	13	14	12	2				1	1		5	1				5	56
単純ヘルペス				1	5									1			2	9
水痘・帯状疱疹					3													3
ヘルペス6/7			2						1			3			1		13	20
EB													1				5	6
サイトメガロ			4	1	1												3	9
ムンプス													2					2
麻しん																		
風しん																		
パルボB19											1							1
RS		1	22															23
ノロ				42													2	44
ロタ				2														2
インフルエンザAH1	18	1	4															23
インフルエンザAH3																		
インフルエンザB	1																	1
デング																	1	1
その他のウイルス			1															1
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																		
その他の細菌	1		2															3
その他の病原体																		
備考																		

# 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法	
11/28	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	遺伝子	
11/28	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス アデノウイルス エンテロウイルス		
11/29	胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス		
11/29	感染性胃腸炎	4M	糞便	ノロウイルス		
11/29	急性胃腸炎	記載無し	糞便	ノロウイルス		
11/30	肺炎	3	鼻汁	アデノウイルス RSウイルス		
12/1	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス		
12/1	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス アデノウイルス		
12/1	インフルエンザ	42	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
12/3	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス		
12/3	記載無し	6	咽頭拭い液	アデノウイルス		
12/3	ウイルス性髄膜炎	1M	髄液	単純ヘルペスウイルス		
12/3	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
12/3	インフルエンザ	7	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
12/3	インフルエンザ	59	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型		
12/4	急性咽頭炎	12	咽頭拭い液	アデノウイルス		
12/4	急性気管支炎	1M	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス		
12/4	歯肉口内炎 頸部リンパ節炎	5	咽頭拭い液	エンテロウイルス 単純ヘルペスウイルス		
12/4	急性胃腸炎	85	糞便	ノロウイルス		
12/4	胃腸炎	5	直腸拭い液	ノロウイルス		
12/4	感染性腸炎	33	直腸拭い液	ノロウイルス		
12/4	急性胃腸炎	8M	直腸拭い液	ノロウイルス エンテロウイルス		
12/4	けいれん重積群発	1	咽頭拭い液 直腸拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型		
12/4	急性大腸炎	22	ふん便	カンピロバクター・ジェジュニ		分離
12/4	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		遺伝子
12/4	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
12/4	インフルエンザ	41	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型		
12/5	インフルエンザ	40	鼻汁	インフルエンザウイルスAH1型		
12/5	熱性けいれん	8M	鼻汁	エンテロウイルス ヒトヘルペスウイルス6型		
12/5	胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス		
12/5	ウイルス性胃腸炎	記載無し	糞便	ノロウイルス		
12/5	急性気管支炎 ウイルス性発しん	1	血液	ヒトヘルペスウイルス6型		
12/5	急性気管支炎 ウイルス性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス		
12/6	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス		
12/6	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス		
12/6	急性扁桃炎 気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス		
12/6	急性扁桃炎 咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス		



12/6	インフルエンザ	10	咽頭拭い液	アデノウイルス インフルエンザウイルスAH1型 マイコプラズマ・ニューモニア	遺伝子
12/6	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
12/6	インフルエンザ	14	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
12/6	急性胃腸炎	76	糞便	ノロウイルス	
12/6	急性胃腸炎	3	直腸拭い液	ノロウイルス	
12/6	アレルギー性紫斑病	11	糞便	ノロウイルス	
12/6	インフルエンザ	24	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
12/7	急性咽頭炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス	
12/7	インフルエンザ	3	鼻汁	アデノウイルス	
12/7	発熱	4	咽頭拭い液	アデノウイルス EBウイルス	
12/7	急性細気管支炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス RSウイルス	
12/7	下痢 無熱性けいれん	1	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
記載無し	急性胃腸炎	37	糞便	ノロウイルス	

### 定点医療機関からのコメント

#### ◇インフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関から報告のあった患者に関するコメント
	A	B	
みなと	8		
	8		
	8		
台東	7		
墨田区	6		
品川区	2		
	5		
	9	1	
目黒区	6		
大田区	6	1	
	5		
	3		
	4		
	14		
	2		
世田谷	7		
	1		
	3		
	5		
	18		

中野区	7	1	B型が今シーズン初めて出ました(7歳男児)。 予防接種済みが2名です。保育園にて同じクラスですし、多くの患者が出ている様です。  7歳男児は2回目のワクチン接種後4日目の罹患です。その他の3人は未接種でした。
	3		
	12		
	1		
	4		
池袋	6		9歳女子1名は、インフルエンザ症状に加えて、抗原迅速試験A・B共に陽性でした。
	4		
	12		
北区	4		
	33		
	15		
	22		
	1		
練馬区	6		
	2		
足立	18		
	3		
西多摩	1		同じ症状の母は陰性。 10歳代の女性は予防接種を2回施行しています。
	5		
多摩立川	15		9歳の一人は予防接種2回済。近隣の小学校で集団流行中。 小学校の学級閉鎖東から西へ移動。共通しているのは低学年、2年生から始まっていることです。 6歳(男・女各1名)、8歳(男・女各1名)、10歳(男)、25歳(女)、33歳(男)、40歳(女、発症日が4日前と思われた症例)
	7		
	1		
多摩府中	3		初めてのインフルエンザです 今週は急に患者さんが増えました。2歳男子はA型、B型に陽性、他はすべてA型でした。
	2		
	2		
	23		
多摩小平	6		いよいよ本格的に流行りだしてきたようです。熱が38度台程度のインフルエンザが多いような気がします。
	2		
	25		
	16		
	3		
八王子市	3		
	13		
	7		
	4	2	
	39		

## 性感染症(STI)患者報告数【年齢階級別】2007年11月

男							
年齢階級	* 膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	
0歳							
1～4歳							
5～9歳							
10～14歳							
15～19歳			7	4			1
20～24歳			17	2	3		8
25～29歳			24	9	12		20
30～34歳			19	10	8		16
35～39歳		1	18	7	13		5
40～44歳	1		9	5	5		9
45～49歳	1	1	11	4	1		5
50～54歳			2	2	4		4
55～59歳			1	2	1		3
60～64歳			2				1
65～69歳		1	1	2	1		
70歳～				1			
合計	2	3	111	48	48		72
先月数	1	12	136	53	40		81
増減数	1	-9	-25	-5	8		-9

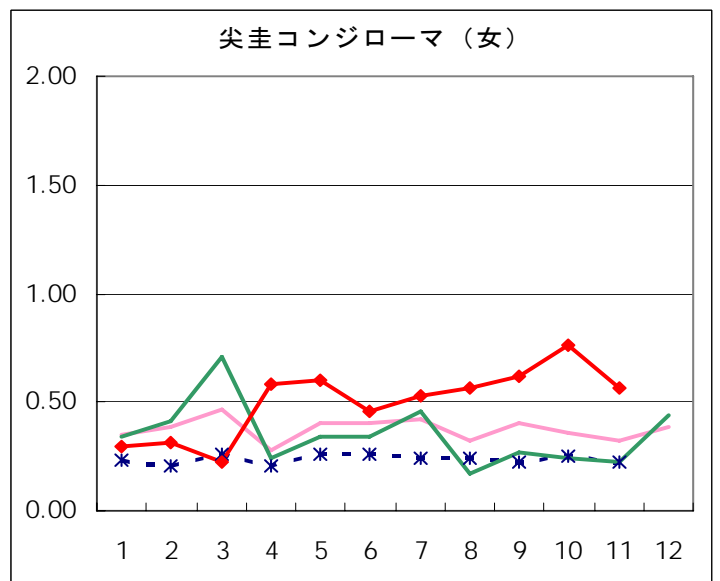
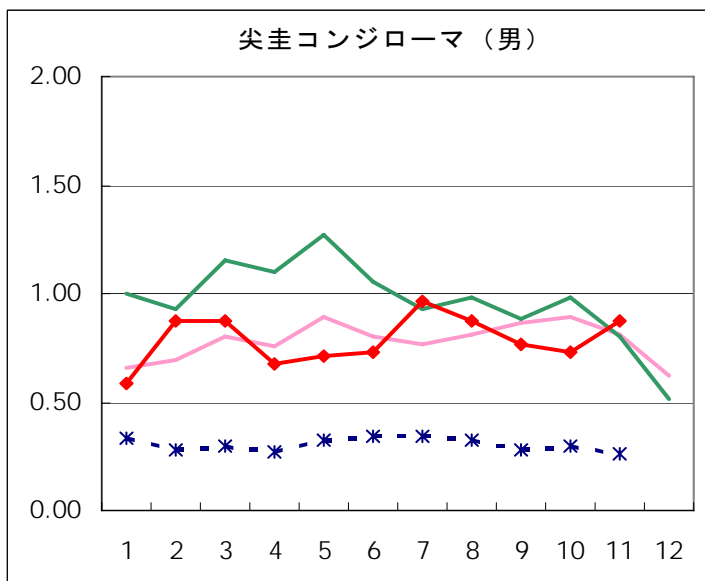
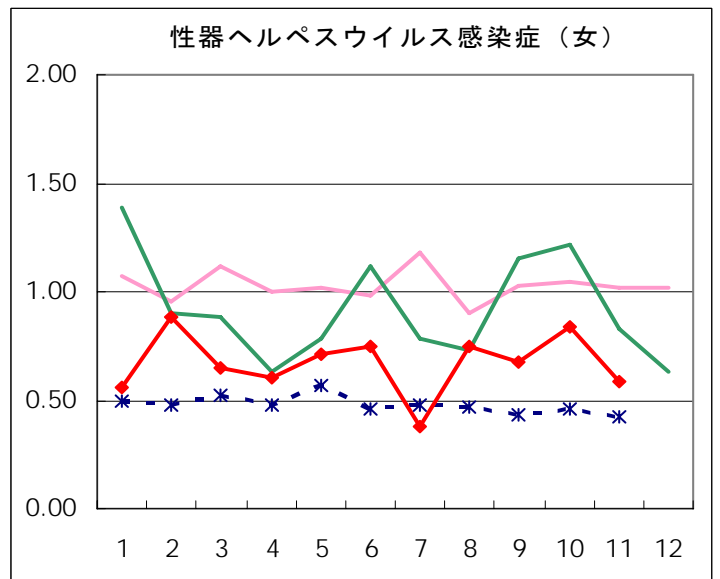
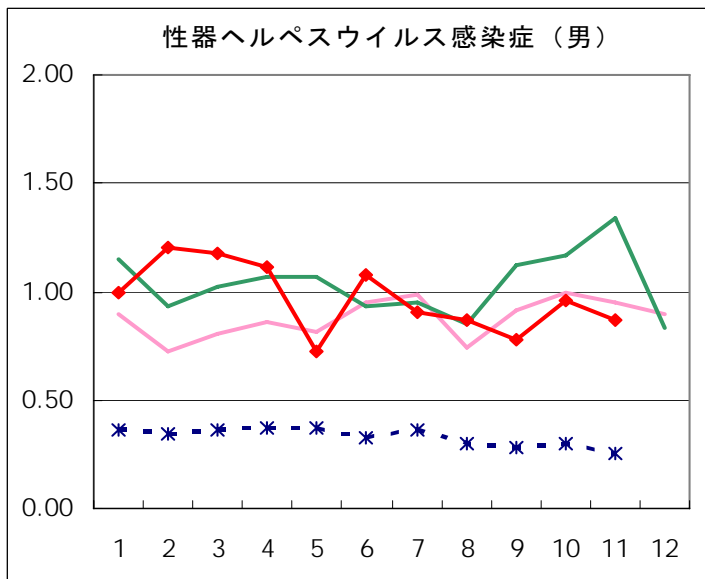
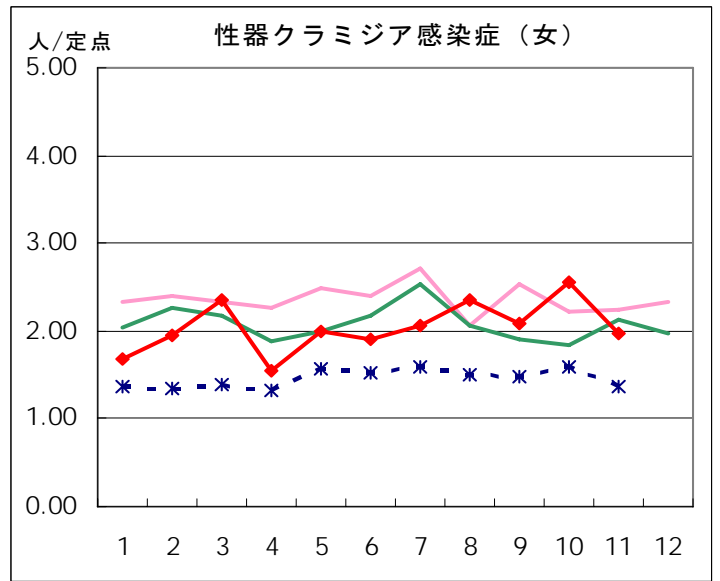
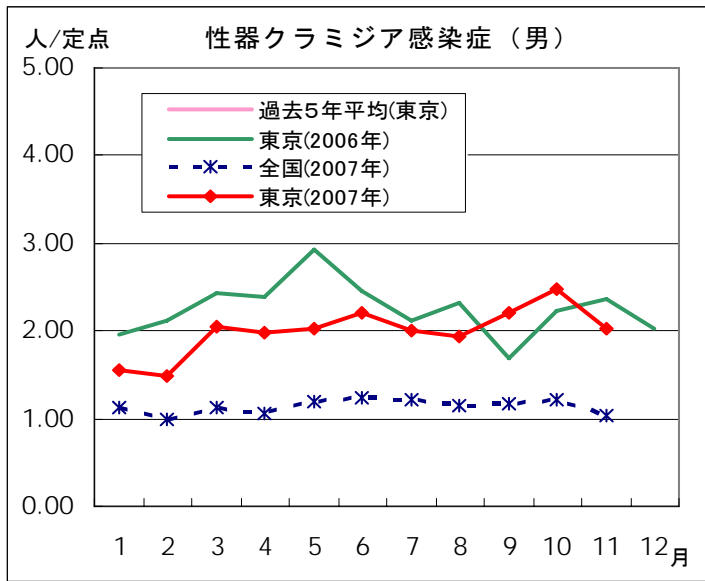
女							
年齢階級	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	
0歳							
1～4歳							
5～9歳							
10～14歳							
15～19歳			11	2			4
20～24歳	4		41	5	11		4
25～29歳	2		25	9	5		2
30～34歳	2	1	20	5	7		2
35～39歳	1	1	4	2	6		2
40～44歳		1	5		1		
45～49歳	3		1	2	1		
50～54歳							
55～59歳		1	1	3			
60～64歳	1			2			
65～69歳	1			1			
70歳～		1		1			
合計	14	5	108	32	31		14
先月数	22	4	141	46	42		22
増減数	-8	1	-33	-14	-11		-8

\* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

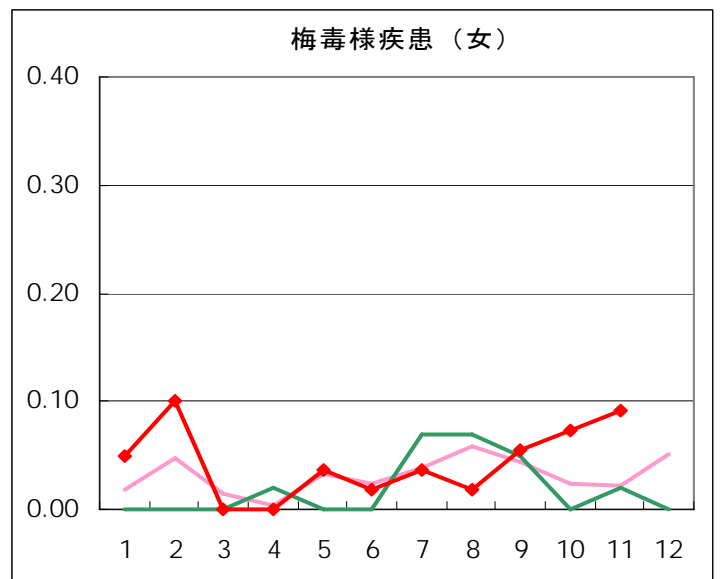
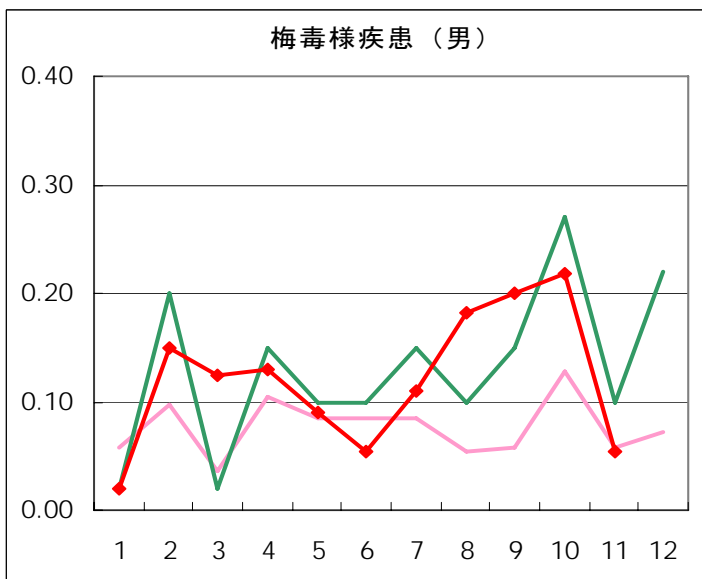
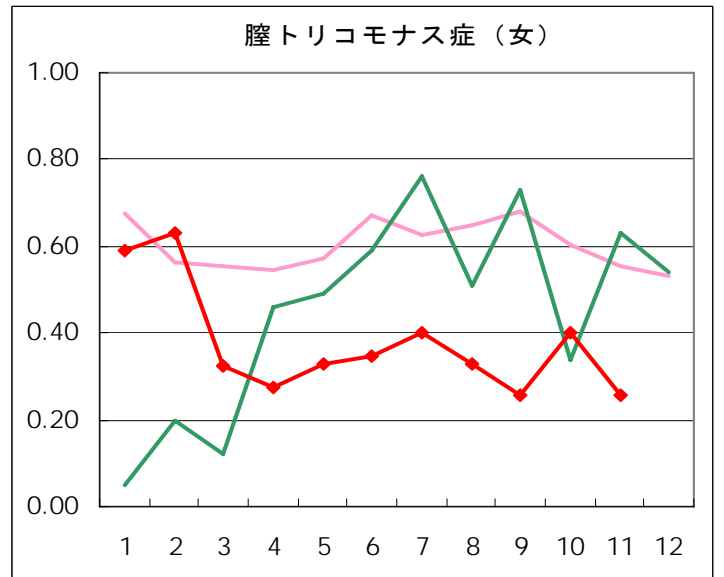
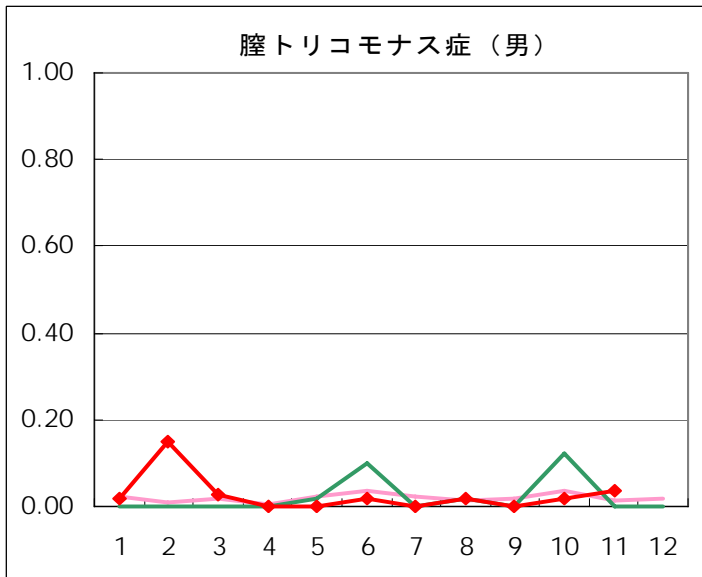
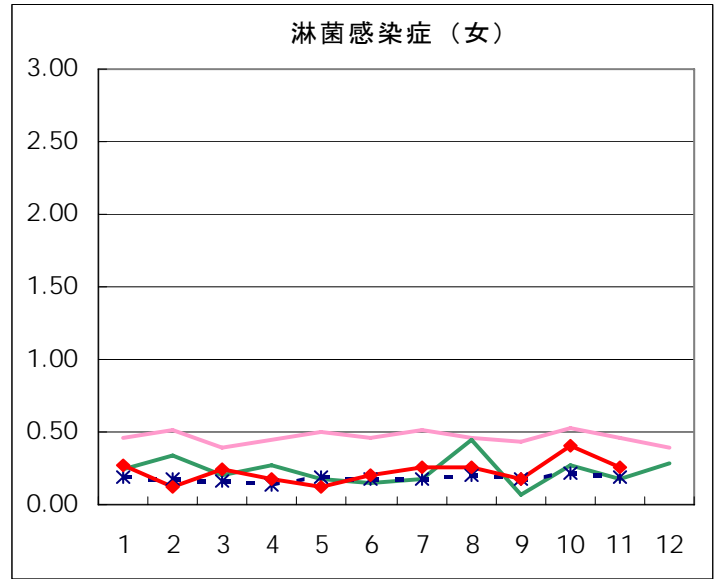
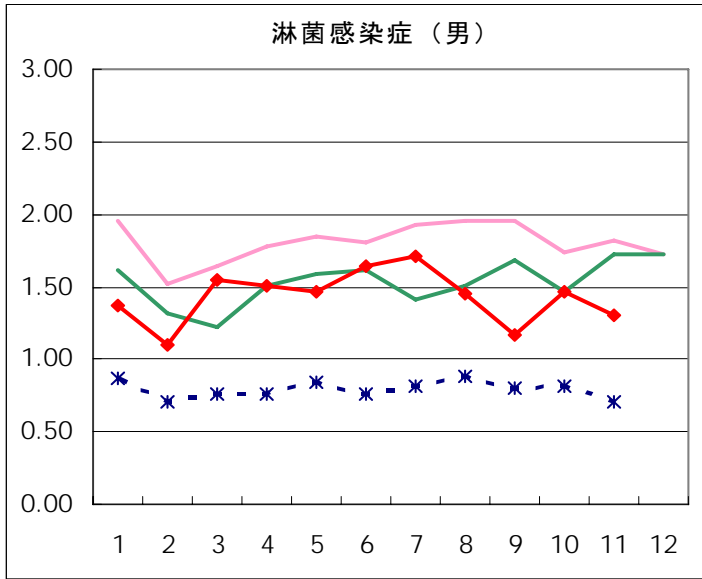
男								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2			8		6	6	20
中央区	3	1		1	1	2	3	8
みなの	2			5		1	3	9
新宿区	6			29	20	21	26	96
文京	1			4	1	1	2	8
台東	3			2	1			3
墨田区	2			3	2	1	1	7
江東区	2			14	10	1	8	33
品川区	1					1		1
大田区	2			2			1	3
渋谷区	5	1		9	2	1	3	16
中野区	2		1	1			2	4
杉並	2			4			3	7
池袋	3		1	20	8	7	6	42
北区	1				1	1		2
荒川区	1							
板橋区	2			1	1		3	5
足立	2			1	1	2	2	6
江戸川	2		1	4		3	1	9
八王子市	4							
町田	1							
多摩立川	2							
多摩府中	3			3			2	5
多摩小平	1							
合計	55	2	3	111	48	48	72	284
定点当たり		0.04	0.05	2.02	0.87	0.87	1.31	5.16

女								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペスウ イルス感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2			1				1
中央区	3			5	1			6
みなの	2	1		5	6	5	1	18
新宿区	6	1	1	11	12	4	3	32
文京	1							
台東	3	6		10	3	4	4	27
墨田区	2			1	1			2
江東区	2			1	1	4		6
品川区	1							
大田区	2			3				3
渋谷区	5		1	4	4	6		15
中野区	2	3	2	3		1	2	11
杉並	2			1	1		1	3
池袋	3		1	12		2	1	16
北区	1							
荒川区	1	1		2				3
板橋区	2			6				6
足立	2					1		1
江戸川	2	1		11		1		13
八王子市	4			10	1	1		12
町田	1	1		2		1	1	5
多摩立川	2			18	2	1	1	22
多摩府中	3			2				2
多摩小平	1							
合計	55	14	5	108	32	31	14	204
定点当たり		0.25	0.09	1.96	0.58	0.56	0.25	3.71

性感染症(STI) 患者報告数【推移グラフ】 2007年11月

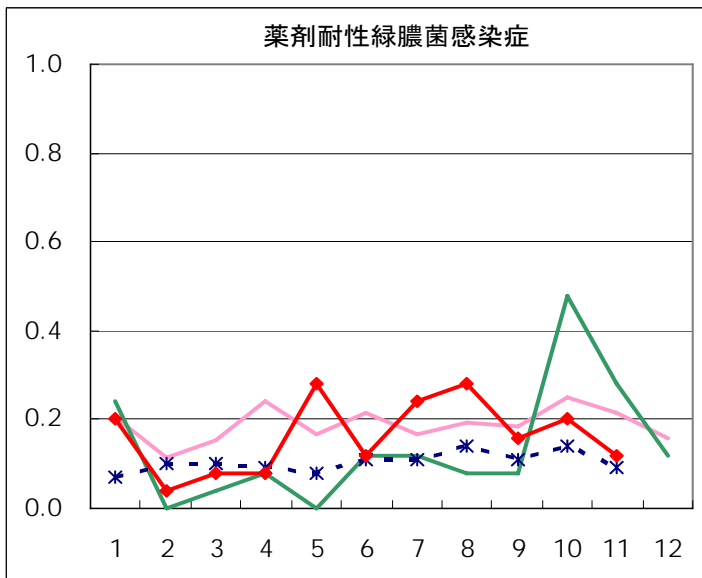
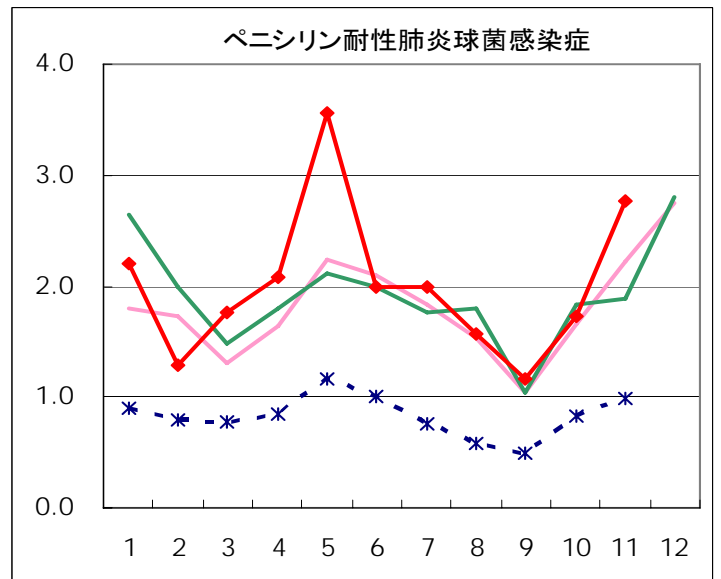
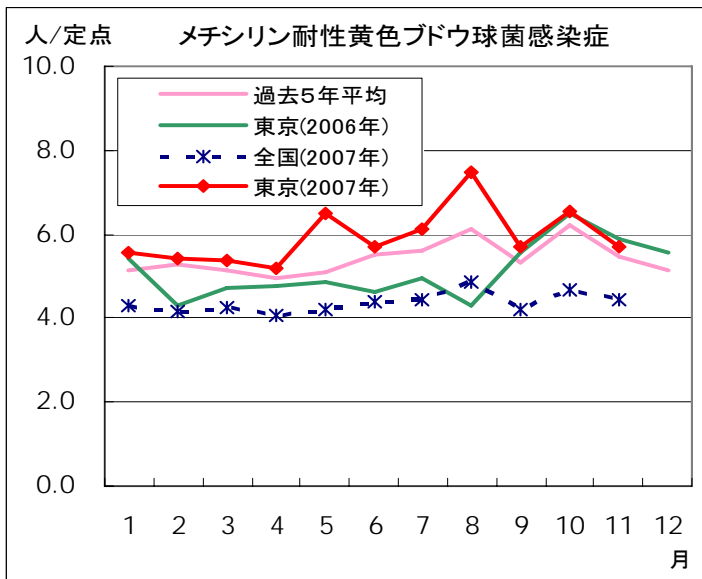


月報



薬剤耐性菌感染症 患者報告数【推移グラフ】 2007年11月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	139	136	134	130	162	143	153	187	142	163	142		1631
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	55	32	44	52	89	50	50	39	29	43	69		552
薬剤耐性緑膿菌感染症	5	1	2	2	7	3	6	7	4	5	3		45



疾病別の定点医療機関数			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告定点数
性感染症 (STI)	性器クラミジア感染症	55	55
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膺トリコモナス症		
	梅毒様疾患		
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

検査項目		検査数	検出数	検査試料	診断名
			(陽性数)		
クラミジア トラコマチス	遺伝子	35	7	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物、尿	クラミジア尿道炎、 クラミジア膣炎、 非淋菌性尿道炎、 コンジローマ、 ヘルペス疑い
	抗体	11	6	血清	ヘルペス、膣炎
淋菌	遺伝子	35	5	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物、尿	淋菌性尿道炎、 クラミジア疑い
	分離	31	2	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌性尿道炎、 非淋菌性尿道炎、 クラミジア疑い
ヒトパピローマウイルス	遺伝子	12	7	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	コンジローマ、膣炎
ヒト単純ヘルペス ウイルス2型	遺伝子	11	4	皮膚病巣、 陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヘルペス(外陰部、陰茎)